

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 マツダ株式会社
 コード番号 7261 URL <http://www.mazda.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山内 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 副本部長 (氏名) 藤本 哲也
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

市場取引所 東

TEL 082-282-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	2,087,875	—	36,520	—	52,137	—	28,857	—
20年3月期第3四半期	2,506,253	9.5	108,397	1.1	89,726	7.0	45,000	6.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	20.77	20.77
20年3月期第3四半期	31.96	31.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,930,846	522,379	26.9	396.74
20年3月期	1,985,566	554,154	27.8	391.82

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 520,343百万円 20年3月期 552,190百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
現時点における期末配当の予想は未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,550,000	△26.6	△25,000	—	△15,000	—	△13,000	—	△9.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 1,418,509,399株	20年3月期 1,418,509,399株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 106,950,540株	20年3月期 9,205,707株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 1,389,426,565株	20年3月期第3四半期 1,408,095,205株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当資料における業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

2. 業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

3. 当期においては、通期業績予想を下方修正すること、及び経営環境の先行きが依然、不透明なことから、現時点における期末配当金を未定とさせていただきます。なお、今後、当期の通期実績と来年度の業績見通しを勘案した上で、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

※ 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,840,000	△25.3	△98,000	—	△63,000	—	△35,000	—	△26.69

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の主要市場での販売台数は、国内では新型ピアンテ、新型アテンザの投入等を行いました。一方、海外では、北米は総需要低迷を受け、271千台（同10%減）となり、欧州では新型マツダ2（日本名：デミオ）等の販売が寄与し、242千台（同6%増）、中国では新型マツダ2、マツダ6（日本名：アテンザ）等の牽引により97千台（同38%増）、その他の市場では190千台（同5%減）となりました。これらを合計したグローバル販売台数は、964千台（同1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高では、主要通貨に対する円高に加えて、会計処理の変更を行ったことなどにより、前年同期比4,184億円減の2兆879億円（前年同期比17%減）となりました。営業利益は、為替の円高や原材料の高騰等により前年同期比719億円減の365億円（同66%減）となり、売上高営業利益率は1.7%となりました。また、経常利益は、為替差益を反映したことにより前年同期比376億円減の521億円（同42%減）となりました。なお、四半期純利益は、前年同期比161億円減の289億円（同36%減）となりました。

(注)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」を適用しておりますが、上記の前年同期との損益比較においては、従来の「第3四半期財務・業績の概況」における業績数値を基礎に算定しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛債権の減少等により前期末より547億円減少の1兆9,308億円となり、負債合計は、仕入債務の減少等により前期末より229億円減少の1兆4,085億円となりました。

純資産は、前期末より318億円減少し、5,224億円となりました。なお自己資本比率は前期末に比べ0.9ポイント減少し26.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の業績予想については、以下のとおりであり、平成20年10月30日に公表しました業績予想を下記のとおり変更しております。

なお、通期業績予想の前提となる為替レートにつきましては1ドル100円、1ユーロ144円を見込んでおります。

連結業績予想

	通 期	前期比
売上高	25,500億円	(△ 26.6%)
営業利益	△250億円	(—)
経常利益	△150億円	(—)
当期純利益	△130億円	(—)

グローバル販売台数の見通し

	通 期	前期比
国 内	218千台	(△ 14.8%)
北 米	342千台	(△ 15.7%)
欧 州	314千台	(△ 3.9%)
中 国	127千台	(+ 25.7%)
その他	239千台	(△ 12.8%)
合 計	1,240千台	(△ 9.0%)

(参考)個別業績予想

	通 期	前期比
売上高	18,400億円	(△ 25.3%)
営業利益	△980億円	(—)
経常利益	△630億円	(—)
当期純利益	△350億円	(—)

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期財務諸表に関する会計基準の適用)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を第1四半期連結会計期間より適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更により、期首の利益剰余金が1,554百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益に与える影響は319百万円増加となりますが、経常利益は2,797百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は3,066百万円減少しております。

また、同基準の適用に伴い、従来、「販売費及び一般管理費」に含めておりました在外子会社の販売奨励金（当第3四半期連結累計期間 90,951百万円）を「売上高」から控除する方法に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高、売上総利益、販売費及び一般管理費がそれぞれ同額減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

当社及び国内連結子会社は、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間より適用し、評価基準については、従来の「原価基準」から「原価基準（収益性の低下による簿価切下げの方法）」に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(有償支給の売上処理の変更)

当社は、従来、取引先に対する有償支給品代を「売上高」及び「売上原価」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「売上高」及び「売上原価」から除くことに変更しております。この変更は、従来、所有権が移転するという契約形態に着目していたものを、加工を施した後に再び買戻すという取引内容の実態に着目し、行なったものであります。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「売上高」及び「売上原価」がそれぞれ131,058百万円減少しましたが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法改正（減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令（平成20年4月30日 財務省令第32号））に伴い、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却を算出する際の耐用年数を、改正後の法人税法の耐用年数に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が1,719百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,727百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,865	120,961
受取手形及び売掛金	149,785	201,259
有価証券	49,207	103,003
たな卸資産	337,472	287,716
その他	202,268	184,392
貸倒引当金	△1,764	△2,019
流動資産合計	831,833	895,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	152,962	155,056
機械装置及び運搬具(純額)	208,921	215,657
土地	442,677	442,237
リース資産(純額)	58,500	35,285
その他(純額)	43,934	50,133
有形固定資産合計	906,994	898,368
無形固定資産	29,722	33,951
投資その他の資産		
投資有価証券	85,708	92,658
その他	81,542	70,214
貸倒引当金	△4,360	△4,329
投資損失引当金	△593	△608
投資その他の資産合計	162,297	157,935
固定資産合計	1,099,013	1,090,254
資産合計	1,930,846	1,985,566

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	224,578	336,731
短期借入金	139,642	69,851
1年内返済予定の長期借入金	43,572	32,935
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	17,454	13,089
未払法人税等	3,910	22,321
未払費用	143,101	203,540
製品保証引当金	54,661	51,535
その他	61,046	94,933
流動負債合計	707,964	844,935
固定負債		
社債	95,000	85,000
長期借入金	356,979	261,599
リース債務	40,957	22,505
再評価に係る繰延税金負債	93,733	93,740
退職給付引当金	94,490	99,844
その他の引当金	544	631
その他	18,800	23,158
固定負債合計	700,503	586,477
負債合計	1,408,467	1,431,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,068	150,068
資本剰余金	133,760	133,838
利益剰余金	186,189	167,332
自己株式	△22,976	△4,549
株主資本合計	447,041	446,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	219	545
繰延ヘッジ損益	4,602	4,158
土地再評価差額金	136,039	136,048
為替換算調整勘定	△67,458	△34,090
海外子会社年金調整額	△100	△1,160
評価・換算差額等合計	73,302	105,501
新株予約権	303	209
少数株主持分	1,733	1,755
純資産合計	522,379	554,154
負債純資産合計	1,930,846	1,985,566

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2,087,875
売上原価	1,594,060
売上総利益	493,815
販売費及び一般管理費	457,295
営業利益	36,520
営業外収益	
受取利息	2,738
持分法による投資利益	4,816
為替差益	22,709
その他	3,846
営業外収益合計	34,109
営業外費用	
支払利息	11,181
その他	7,311
営業外費用合計	18,492
経常利益	52,137
特別利益	
固定資産売却益	266
投資有価証券売却益	77
収用補償金	251
その他	16
特別利益合計	610
特別損失	
固定資産除売却損	1,663
減損損失	1,160
その他	10
特別損失合計	2,833
税金等調整前四半期純利益	49,914
法人税、住民税及び事業税	7,312
法人税等調整額	13,737
法人税等合計	21,049
少数株主利益	8
四半期純利益	28,857

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	49,914
減価償却費	57,354
無形固定資産償却費	6,429
減損損失	1,160
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△95
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3,126
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,798
受取利息及び受取配当金	△2,902
支払利息	11,181
持分法による投資損益 (△は益)	△4,816
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,146
投資有価証券売却損益 (△は益)	△77
売上債権の増減額 (△は増加)	49,574
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91,302
仕入債務の増減額 (△は減少)	△110,456
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△55,743
その他	△24,473
小計	△116,778
利息及び配当金の受取額	7,400
利息の支払額	△10,830
法人税等の支払額	△28,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△149,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△7,110
投資有価証券の売却による収入	124
有形固定資産の取得による支出	△41,106
有形固定資産の売却による収入	5,347
無形固定資産の取得による支出	△4,869
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△2
長期貸付けによる支出	△200
長期貸付金の回収による収入	67
その他	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,731

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	41,195
長期借入れによる収入	138,400
長期借入金の返済による支出	△32,383
社債の発行による収入	10,000
セール・アンド・リースバックによる収入	5,936
リース債務の返済による支出	△14,804
配当金の支払額	△8,453
少数株主への配当金の支払額	△27
自己株式の取得による支出	△18,505
その他	△985
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,350
現金及び現金同等物の期首残高	223,894
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	143,982

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別

当企業集団は、自動車関連事業における売上高及び営業損益が、全セグメントの売上高合計及び各セグメントの営業利益又は営業損失の合計額のいずれか大きい金額のそれぞれ90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別

当第3四半期連結累計期間 (H20.4.1~H20.12.31)

	日本	北米	欧州	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	785,550	570,746	536,737	194,842	2,087,875	-	2,087,875
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	986,918	5,335	7,430	1,423	1,001,106	(1,001,106)	-
計	1,772,468	576,081	544,167	196,265	3,088,981	(1,001,106)	2,087,875
営業利益又は営業損失(△)	△ 29,153	23,714	16,355	9,036	19,952	16,568	36,520

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
 (1) 国又は地域の区分の方法…地理的近接度により区分しております。
 (2) 各区分に属する主な国又は地域
 北米…米国、カナダ
 欧州…ロシア、ベルギー、ドイツ
 その他の地域…オーストラリア、コロンビア

2. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の北米における営業利益への影響は軽微となりますが、欧州における営業利益が1,986百万円減少、その他の地域における営業利益が2,462百万円増加しております。

また、同基準の適用に伴い、従来、「販売費及び一般管理費」に計上しておりました在外子会社の販売奨励金を「売上高」から控除する方法に変更しており、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の北米における売上高が52,586百万円減少、欧州における売上高が37,138百万円減少、その他の地域における売上高が1,227百万円減少しておりますが、それぞれ営業費用(販売費及び一般管理費)が同額減少しており、営業利益への影響はありません。

3. 有償支給の売上処理の変更

当社は、「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、有償支給の売上処理を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の日本における売上高が131,058百万円減少しておりますが、営業費用(売上原価)が同額減少しており、営業利益への影響はありません。

4. 有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、「追加情報」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却を算出する際の耐用年数を、改正後の法人税法の耐用年数に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の日本における営業利益が1,719百万円減少しております。

③海外売上高

当第3四半期連結累計期間 (H20.4.1～H20.12.31)

	北 米	欧 州	その他の地域	計
I 海外売上高	百万円 589,175	百万円 548,873	百万円 477,863	百万円 1,615,911
II 連結売上高	—	—	—	2,087,875
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 28.2	% 26.3	% 22.9	% 77.4

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
- (1) 国又は地域の区分の方法…地理的近接度により区分しております。
- (2) 各区分に属する主な国又は地域
- 北米……………米国、カナダ
- 欧州……………ロシア、ドイツ、イギリス
- その他の地域……オーストラリア、中国、タイランド
3. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い
- 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。
- 同基準の適用に伴い、従来、「販売費及び一般管理費」に計上しておりました在外子会社の販売奨励金を「売上高」から控除する方法に変更しており、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の北米における売上高が52,586百万円減少、欧州における売上高が37,138百万円減少、その他の地域における売上高が1,227百万円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結会計期間において、平成20年11月18日開催の取締役会決議に基づき、平成20年11月19日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) により当社普通株式を96,802千株取得いたしました。この影響により自己株式は17,812百万円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末における株主資本合計は、447,041百万円となっております。

【参 考】

前年第3四半期に係る連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

科 目		前第3四半期累計	当第3四半期累計	増 減	
		(H19.4~H19.12)	(H20.4~H20.12)	金額	増減率
		金額	金額	金額	%
		百万円	百万円	百万円	
I 売上高	1	2,506,253	2,087,875	△418,378	△16.7
II 売上原価	2	1,790,667	1,594,060	△196,607	△11.0
売上総利益	3	715,586	493,815	△221,771	△31.0
III 販売費及び一般管理費	4	607,189	457,295	△149,894	△24.7
営業利益	5	108,397	36,520	△71,877	△66.3
IV 営業外収益					
受取利息	6	3,240	2,738	△502	△15.5
持分法による投資利益	7	5,549	4,816	△733	△13.2
為替差益	8	—	22,709	22,709	—
その他	9	4,086	3,846	△240	△5.9
計	10	12,875	34,109	21,234	164.9
V 営業外費用					
支払利息	11	14,241	11,181	△3,060	△21.5
為替差損	12	12,286	—	△12,286	—
その他	13	5,019	7,311	2,292	45.7
計	14	31,546	18,492	△13,054	△41.4
経常利益	15	89,726	52,137	△37,589	△41.9
VI 特別利益					
固定資産売却益	16	862	266	△596	△69.1
投資有価証券売却益	17	28	77	49	175.0
収用補償金	18	82	251	169	206.1
その他	19	—	16	16	—
計	20	972	610	△362	△37.2
VII 特別損失					
固定資産除売却損	21	2,951	1,663	△1,288	△43.6
減損損失	22	313	1,160	847	270.6
リース会計基準の適用に伴う影響額	23	1,144	—	△1,144	—
その他	24	4	10	6	150.0
計	25	4,412	2,833	△1,579	△35.8
税金等調整前四半期純利益	26	86,286	49,914	△36,372	△42.2
法人税、住民税及び事業税	27	27,490	7,312	△20,178	△73.4
過年度法人税等	28	6,290	—	△6,290	—
法人税等調整額	29	6,832	13,737	6,905	101.1
少数株主利益	30	674	8	△666	△98.8
四半期純利益	31	45,000	28,857	△16,143	△35.9

(注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」を適用しておりますが、上記の前年同期との損益比較においては、従来の「第3四半期財務・業績の概況」における業績数値を基礎に算定しております。

(2) セグメント情報

①事業の種類別

当企業集団は、自動車関連事業における売上高及び営業損益が、全セグメントの売上高合計及び各セグメントの営業利益又は営業損失の合計額のいずれか大きい金額のそれぞれ90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

②所在地別

前第3四半期連結累計期間 (H19.4.1～H19.12.31)

	日本	北米	欧州	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	928,095	724,624	602,349	251,185	2,506,253	-	2,506,253
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,038,109	3,316	16,723	1,721	1,059,869	(1,059,869)	-
計	1,966,204	727,940	619,072	252,906	3,566,122	(1,059,869)	2,506,253
営業利益	77,533	10,096	13,111	14,991	115,731	(7,334)	108,397

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
 (1) 国又は地域の区分の方法…地理的近接度により区分しております。
 (2) 各区分に属する主な国又は地域
 北米……………米国、カナダ
 欧州……………イギリス、ドイツ、ベルギー
 その他の地域……オーストラリア、コロンビア

③海外売上高

前第3四半期連結累計期間 (H19.4.1～H19.12.31)

	北米	欧州	その他の地域	計
	百万円	百万円	百万円	百万円
I 海外売上高	756,993	614,452	512,937	1,884,382
II 連結売上高	-	-	-	2,506,253
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	30.2%	24.5%	20.5%	75.2%

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
 (1) 国又は地域の区分の方法…地理的近接度により区分しております。
 (2) 各区分に属する主な国又は地域
 北米……………米国、カナダ
 欧州……………イギリス、ドイツ、ロシア
 その他の地域……オーストラリア、中国、コロンビア

6. その他の情報 (生産及び販売の状況)

(1) 生産実績

第3四半期連結累計期間

区 分		前第3四半期累計期間 (H19.4.1 ~ H19.12.31)	当第3四半期累計期間 (H20.4.1 ~ H20.12.31)	増 減
車	乗 用 車	721,915 台	757,403 台	35,488 台
	ト ラ ッ ク	31,526	27,780	△ 3,746
合 計		753,441	785,183	31,742

(注) 生産実績には、フォード社との合弁会社である以下の製造会社(持分法適用会社)の生産台数(マツダブランド車)は含まれておりません。

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増 減
オートアライアンス インターナショナル, Inc.	38,705台	50,331台	11,626台
オートアライアンス (タイラント)Co., Ltd.	38,801台	41,918台	3,117台

(2) 販売実績

第3四半期連結累計期間

区 分	前第3四半期累計期間 (H19.4.1 ~ H19.12.31)		当第3四半期累計期間 (H20.4.1 ~ H20.12.31)		増 減	
	台 数	金 額	台 数	金 額	台 数	金 額
車 両	875,730 台	1,840,952 百万円	891,049 台	1,582,915 百万円	15,319 台	△ 258,037 百万円
海 外 生 産 用 部 品	—	84,418	—	69,816	—	△ 14,602
部 品	—	213,831	—	210,539	—	△ 3,292
そ の 他	—	367,052	—	224,605	—	△ 142,447
合 計	—	2,506,253	—	2,087,875	—	△ 418,378

<出荷台数仕向地別内訳>

区 分		前第3四半期累計期間 (H19.4.1 ~ H19.12.31)	当第3四半期累計期間 (H20.4.1 ~ H20.12.31)	増 減
車 両	日 本	177,263 台	165,594 台	△ 11,669 台
	北 米	279,917	277,446	△ 2,471
	欧 州	217,544	233,097	15,553
	そ の 他	201,006	214,912	13,906
	海 外 計	698,467	725,455	26,988
合 計		875,730	891,049	15,319

第3四半期参考資料
平成21年3月期(連結)

平成21年2月4日
マツダ株式会社

(単位：千台/億円)

(左肩：売上高利益率)		前第3四半期 累計実績 (H19.4~H19.12)		第1四半期		第2四半期		当第2四半期 累計実績 (H20.4~H20.9)		第3四半期		当第3四半期 累計実績 (H20.4~H20.12)		前期実績 (H19.4~H20.3)		通期予想 (H20.4~H21.3)	
					%		%		%		%		%		%		%
売上高	国内	1	6,219	△3.6	1,573	1,814	3,387	△18.4	1,333	4,720	△24.1	8,801	△0.8	6,500	△26.1		
	海外	2	18,844	+14.6	6,145	6,223	12,368	△0.4	3,791	16,159	△14.2	25,957	+10.0	19,000	△26.8		
	計	3	25,063	+9.5	7,718	8,037	15,755	△4.9	5,124	20,879	△16.7	34,758	+7.0	25,500	△26.6		
営業利益	4	1,084	+1.1	283	324	607	△16.9	△242	365	△66.3	1,621	+2.3	△250	-			
経常利益	5	897	+7.0	229	256	485	△15.7	36	521	△41.9	1,485	+16.2	△150	-			
税引前当期純利益	6	863	+12.5	226	242	468	△13.8	31	499	△42.2	1,431	+20.8	△200	-			
当期純利益	7	450	+6.9	150	145	295	+1.7	△6	289	△35.9	918	+24.5	△130	-			
所在地別営業利益																	
日本	8	775		138	163	301		△593	△292		1,076						
北米	9	101		66	117	183		54	237		60						
欧州	10	131		40	86	126		38	164		180						
その他地域	11	150		52	20	72		18	90		208						
営業利益変動要因																	
台数・車種構成 為替	12			+263	+188	+451		△341	+110					△880			
商品力向上	13			△170	△110	△280		△420	△700					△1,030			
コスト削減	14			△32	△53	△85		△36	△121					△190			
原材料高騰影響	15			+94	+82	+176		+137	+313					+440			
販売費用	16			△100	△136	△236		△136	△372					△440			
その他	17			△51	△20	△71		+71	-					+45			
計	18			△44	△35	△79		+130	+51					+184			
	19			△40	△84	△124		△595	△719					△1,871			
為替レート	売上	USドル	20	117	105	108	106	96	103	114	100						
		ユーロ	163	163	162	163	127	151	162	144							
	入金	USドル	21	117	103	106	104	101	103	115	103						
		ユーロ	156	155	161	158	155	157	157	156							
設備投資	22	537	391	208	599	105	704	755	880								
減価償却費	23	493	185	194	379	195	574	665	760								
研究開発費	24	859	289	274	563	249	812	1,144	1,010								
総資産	25	19,851	20,489	20,406		19,308		19,856									
純資産	26	5,056	5,499	5,722		5,224		5,542									
有利子負債残高	27	5,615	5,811	5,905		7,136		5,050									
純有利子負債残高	28	3,461	3,644	3,748		5,696		2,811									
グローバル販売台数	海外	国内	29	175	△3.6	54	69	123	△0.1	41	164	△6.4	256	△1.9	218	△14.8	
		北米	30	302	+8.6	109	91	200	△6.2	71	271	△10.3	406	+6.8	342	△15.7	
		欧州	31	228	+3.2	93	86	179	+17.3	63	242	+5.9	327	+7.4	314	△3.9	
		中国	32	71	△27.9	33	30	63	+52.6	34	97	+38.1	101	△21.8	127	+25.7	
		その他	33	199	+22.1	69	67	136	+5.2	54	190	△4.8	273	+20.4	239	△12.8	
		計	34	800	+5.3	304	274	578	+7.8	222	800	△0.0	1,107	+6.4	1,022	△7.7	
	計	35	975	+3.6	358	343	701	+6.3	263	964	△1.2	1,363	+4.7	1,240	△9.0		
国内生産台数	36	753	+3.9	273	287	560	+18.6	225	785	+4.2	1,047	+8.2	900	△14.0			

※1. グローバル販売台数：マツダブランド名で販売される全世界小売台数であります。

※2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。